

2026年7月2日

< プレスリリース >

バイオジェン・ジャパン株式会社
株式会社オリイ研究所
一般社団法人オンラインボッチャ協会
株式会社CAC Holdings
株式会社エスパルス

テクノロジーで距離や身体の壁を越え、スポーツでつながる仲間ができる
「2026 バイオジェンカップ リモートスポーツ大会」
OriHimeサッカー決勝大会を2026年7月18日(土)
Jリーグ・清水エスパルスのホームスタジアムにて開催決定！



バイオジェン・ジャパン株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：傳幸諭）、株式会社オリイ研究所（本社：東京都中央区、代表取締役：吉藤健太郎・笹山正浩）、一般社団法人オンラインボッチャ協会（所在地：埼玉県戸田市、代表：大川秀治）は、**身体を動かすことが難しくとも、自宅や病室などの遠隔地から、リモートで参加することができるスポーツ大会「2026 バイオジェンカップ リモートスポーツ大会」の決勝大会をOriHimeサッカーは2026年7月18日(土)、オンラインボッチャは2026年10月10日(土)、10月11日(日)にて開催予定です。**

大会は、様々な障がいを抱えながらもチームで協力しあい、作戦を練りながら熱戦を繰り広げることで「スポーツをすることの楽しさ」を知っていただくことを趣旨としています。2026年は世界的にサッカーへの関心が一層高まる年ですが、**今年のOriHimeサッカーの決勝大会は、サッカーの街・静岡にある、Jリーグ・清水エスパルスのホームスタジアム「IAIスタジアム日本平」にて開催することが決定いたしました。**

OriHimeサッカー決勝には、6月より開催された予選会を勝ち抜いた計4チームが出場し、参加者たちは自宅や病室といった遠隔地から現地にあるOriHimeを操作して参加予定です。

【2026年7月18日(土)OriHimeサッカー決勝大会 開催会場：IAIスタジアム日本平】

OriHimeサッカーの決勝大会はJリーグ・清水エスパルスのホームスタジアム「IAIスタジアム日本平」にて開催されます。「サッカーのまち静岡清水」のシンボリックな競技施設であり、富士山と清水港を望む景観が愛されるスタジアム。「日本一のピッチ」といわれ、Jリーグアウォーズのベストピッチ賞を計9回受賞した素晴らしい天然芝のピッチでは、Jリーグの開催のみならず、全国高校総体の会場となったことを起点に、様々なカテゴリーのサッカー大会や決勝戦が開催され、毎年、全国少年少女草サッカー大会の決勝戦会場にもなっています。



7月18日の決勝大会では、清水エスパルスのアカデミー所属選手たちが現地からOriHime Cartを操作して遠隔参加者たちと交流する機会も設ける予定です。

本大会は、バイオジェン・ジャパン株式会社主催、株式会社オリィ研究所、一般社団法人オンラインボッチャ協会、株式会社CAC Holdings、株式会社エスパルスの協力のもと運営されます。最新情報は、2026年大会公式ウェブページ <https://orihime.orylab.com/biogen-cup2026/> を参照ください。

メディアの方におかれましては、ご取材も受け付けております！リモートながらも伝わってくる選手たちの熱量、ぜひ決勝大会の会場にてご覧ください。

< 大会概要 >

【OriHimeサッカー開催日程】

■決勝大会：2026年7月18日(土) IAIスタジアム日本平にて開催予定

■参加者向け練習会：下記日程で実施

第1回 5月12日(火) 18:00~19:30 (終了)

第2回 5月27日(水) 18:00~19:30 (終了)

■予選会

第1回 6月11日(木) 18:00~19:30 (終了)

第2回 6月25日(木) 18:00~19:30 (終了)

【オンラインボッチャ開催日程】

■決勝大会：2026年10月10日(土)、10月11日(日)
CACボッチャコートにて開催予定

■主催：バイオジェン・ジャパン株式会社

■協力：株式会社オリィ研究所、一般社団法人オンラインボッチャ協会
株式会社CAC Holdings、株式会社エスパルス

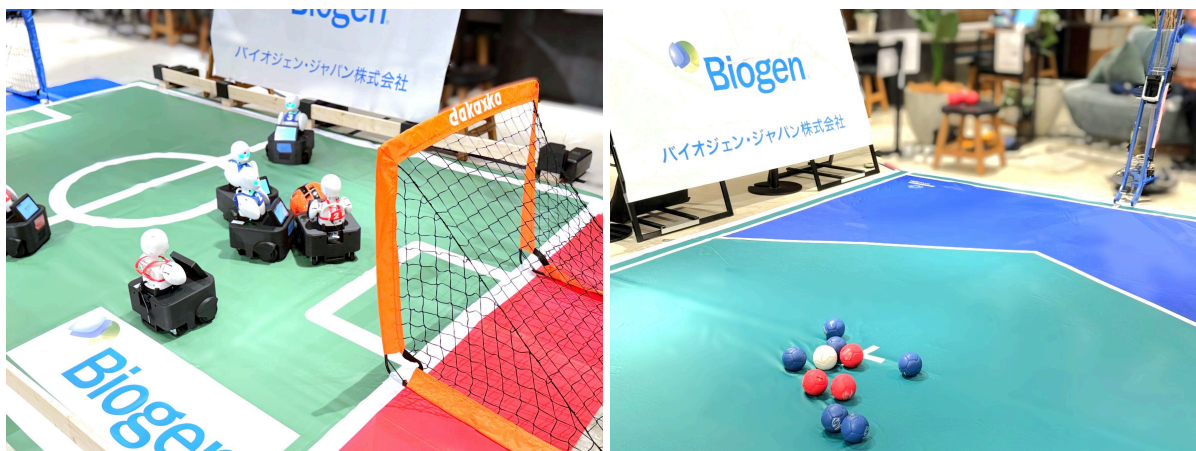
■参加対象：①29歳以下でありスポーツをする上で困難がある人
②自身でもしくは介助者同伴の元、デバイスの操作が可能なる
③練習会に参加いただくと本大会に出場エントリーができます

■2026年大会公式ウェブページ：<https://orihime.orylab.com/biogen-cup2026/>

< 「2026 バイोजェンカップ リモートスポーツ大会」の日程と詳細 >

■ 参加者向け練習会 2026年5月～

参加を検討している対象者向けの練習会です。本大会の種目である「OriHimeサッカー」「オンラインポッチャ」の2種目をご自宅や病室といった遠隔地からリモートで体験いただき、ルールや競技内容を学んでいただきました。



参加者の多くが障がいなどによって、身体を自由に動かすことができなかつたり、視線入力ユーザーである方々。参加後の感想では、「やっていくうちに操作方法がだんだん分かってきて、練習最終日にはゴールを決めることができた。とても嬉しかったです」「参加回数を重ねるごとに戦術を考えるようになった」といった声が寄せられました。また、学校の先生からは「試合後は悔しさのあまり涙をこぼしている生徒もあり、非常に良い経験になったと思います」との感想もいただいています。

■ OriHimeサッカー予選会 2026年6月

練習会を経てエントリーを決めた選手達が、6チーム（3人1組）に振分けられ

7月18日(土)の決勝大会進出に向けた予選会を行いました。

予選を経て勝ち抜いた総勢4チームが、決勝大会へ進出予定です。

※オンラインポッチャの予選会は実施いたしません。

■ 決勝大会

リモート上で闘い、種目別の優勝チームを決めます。

それぞれが自宅や学校といった日本国内の異なる遠隔地からリモートで参加。

岩手県、兵庫県、鹿児島県など、日本各地から参加者が集まる点も本大会の特徴です。

地域を越えて対戦できるリモート開催ならではの熱戦に注目が集まります。

<競技種目について>

種目は「OriHimeサッカー」「オンラインボッチャ」の2競技
参加者は練習会で各種目を体験後、
自らがエントリーする種目を1つ選び、本戦へ挑みます。

OriHime (オリヒメ) とは



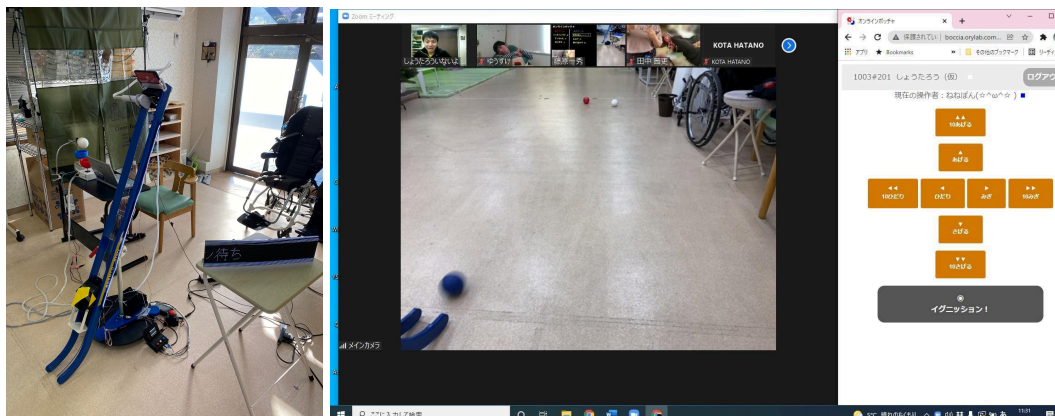
株式会社オリィ研究所が開発した遠隔操作型分身ロボット。
高さ約23cmの本体の中にはカメラ・マイク・スピーカーが搭載されており、
インターネットを通じ、PCやタブレットなどのデバイスを使用することで自宅や学校といった
遠隔地からの操作が可能となります。

① OriHime Cartを使用した「OriHimeサッカー」



モーターで動くカートの上に本体を乗せた「OriHime Cart」を使用した競技。
OriHime Cartで体当たりをしながら場内にあるサッカーボールを押し進め、
相手方のゴールコートにサッカーボールを入れた回数で、勝敗を決めます。

② オンラインボッチャ



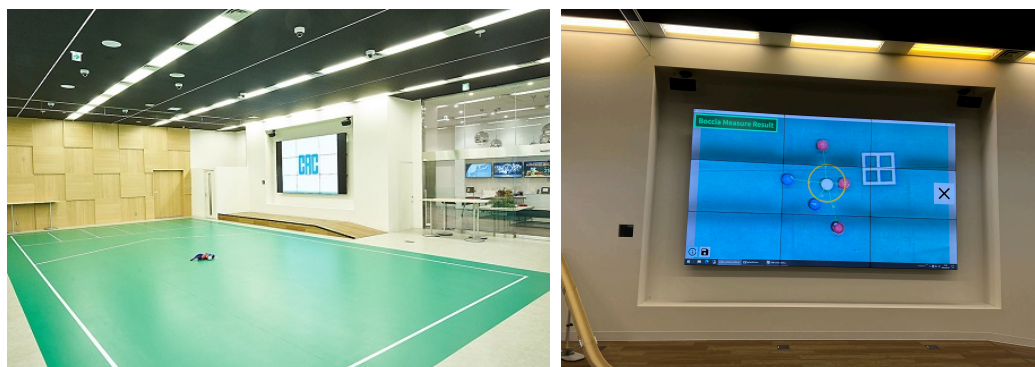
【画像】左はオンラインボッチャで使用するマシン。出場者たちは遠隔でマシンを操作し大会に挑む

「オンラインボッチャ」とは、競技会場に設置されたボッチャマシン（従来のボッチャで用いられるランプと呼ばれる滑り台様の道具に遠隔操縦装置が付随されたもの）をインターネットを介して操作し、ボッチャ競技を行うもの。会場へのアクセスが困難などの問題により、従来のボッチャには参加をすることができなかった重度身体障害のお子様でも、自宅から競技に参加することが可能です。

選手は、マシン及び会場に設置された3つの俯瞰カメラをZoom越しに見ることで、会場の様子を把握することができます。交代でオンラインボッチャマシンを操作しながら、ボールのスピードや当たる角度を調整し、投球します。オンラインボッチャマシンの操作は、全て手元のパソコンやタブレットからワンクリックで行うことができます。また、肢体不自由であっても操作のしやすいコントローラーも開発。これらを駆使することで、ゲームに参加をすることが可能となります。競技ルールは正式なボッチャのルールに準じており、本大会もボッチャ公式戦ルールの団体戦（1チーム3人制）で行われます。

【2026年10月10日(土)、10月11日(日) 決勝大会 開催会場：CACボッチャコート】

本大会の決勝戦は株式会社CAC Holdingsが本社1階に所有するCACボッチャコートにて開催されます。CACボッチャコートは同社がCSR事業の一環として、ボッチャ競技の普及活動を目指し2019年に設立されたコート。材質はタラフレックス(スポーツ用床材)を使用しており、国際大会等で使用されるコートと同様の仕様で作られています。



【画像】株式会社CAC Holdingsの本社1階にある、CACボッチャコート。壁面には天井カメラと連携し、ゲームの盤面を映し出す大型モニターも備える

【バイオジェンについて】

1978年の創立以来、バイオジェンは世界をリードするバイオテクノロジー企業で、患者さんの人生を変革し、株主や私たちのコミュニティに価値をもたらす新薬をお届けするために革新的なサイエンスを開拓しています。私たちは優れた治療アウトカムをもたらすファースト・イン・クラスの治療薬や治療法を推進するために、人類の生物学に対する深い理解を応用し、異なるモダリティを活用します。私たちは長期的な成長をもたらすために投資利益率のバランスを考慮した上で、果敢にリスクを取るというアプローチを採択しています。

バイオジェン・ジャパンは、米国バイオジェンの日本法人です。世界で有数の歴史のある独立系バイオテクノロジー企業の日本法人として、日本では2000年より事業を展開しています。日本の患者さんにも革新的な医薬品やより良い治療環境を提供すべく活動を展開しています。

バイオジェン・ジャパンに関する情報については、<https://www.biogen.co.jp/>, およびSNS媒体 [Facebook](#), [X](#), [Instagram](#), [YouTube](#), [LinkedIn](#), [LINE](#) をご覧ください。

【オリィ研究所について】

「人類の孤独を解消する」を理念に掲げ、障害・病気・介護・子育て等の理由で外に出ることが難しい「移動困難者」の選択肢を豊かにするサービスを研究開発・提供しています。

展開サービス：

- 遠隔操作でありながら「その場にいる存在感」を共有できる分身ロボット「OriHime（オリヒメ）」
- テレワークでの肉体的社会参加を可能にする分身ロボット「OriHime-D（オリヒメディー）」
- 重度障害があっても目や指先などの僅かな動きだけでコミュニケーションを可能にする意志伝達装置「OriHime eye+Switch（オリヒメアイプラススイッチ）」
- 移動困難者が”パイロット“として分身ロボットOriHime・OriHime-Dを遠隔操作し、オーダーや配膳、お客様との会話など接客を行う「分身ロボットカフェ DAWN ver.β」

詳しくは、株式会社オリィ研究所 公式サイト <https://orylab.com/> をご覧ください。

【オンラインボッチャ協会について】

ボッチャをオンラインで楽しむことにより、年齢・能力・国籍・場所によらず、すべての人が共に楽しむ手段・情報・機会を提供する。障害の有無にかかわらず、誰でも参加可能な練習会を毎週定期開催している。

スローガン「楽しいを、あきらめない！！」。2021年3月26日設立。

【CAC Holdingsについて】

1966年に日本初の独立系ソフトウェア専門会社として創業し、以来60年にわたりITサービスをグローバルに展開しているCACグループの持株会社です。近年は、グループの強みであるAI技術を活用した新たなプロダクトやサービスの創出にも注力し、持続可能でより良い未来の実現を目指しています。日頃より支えてくださっている社会および皆様に感謝の気持ちをお伝えする一つの形として、障害者スポーツであるボッチャの普及・支援活動を、株式会社シーエーシーをはじめとしたグループ会社と共に行っています。

URL: <https://www.cac-holdings.com/csr/boccia.html>

【清水エスパルスについて】

1991年に静岡県清水市（現在は静岡市）に誕生した市民クラブで、Jリーグには開幕時の1993年から参戦している。「サッカー」「清水」「静岡」の頭文字である「S」をチーム名に取り入れ、英語で「心臓の鼓動」という意味の「PLUSE」と組み合わせた。サッカーを愛する県民・市民の胸の高鳴りとチームのスピリットを表している。クラブエンブレムの3本の縦縞は、エスパルスの理念「夢・感動・誇り」を表し、地球儀はクラブの活躍が世界に通じていることを表しており、清水エスパルスを愛する人々のアイデンティティにもなっている。

URL: <https://www.s-pulse.co.jp/>

【本大会に関する一般の方のお問合せ先】

大会に関するご不明点は、下記運営事務局までお問合せ下さい。

「バイオジェンカップ リモートスポーツ大会」運営事務局（株式会社オリィ研究所内）

orihime-sports@orylab.com

＜その他、各種お問い合わせ先＞

【取材に関するお問合せ先】

バイオジェン・ジャパン株式会社

お問合せ先：japan-pa@biogen.com

担当：コーポレートアフェアーズ本部 三井貴子

株式会社オリィ研究所

お問合せ先：pr@orylab.com

担当：広報 青木、濱口

【オンラインボッチャ競技に関するお問合せ先】

一般社団法人 オンラインボッチャ協会

お問合せ先：info@online-boccia.net

担当：オンラインボッチャ全国大会運営事務局

Biogen-291626